

おわりに

本委員会においては、これまで平成 15 年 7 月から平成 29 年 3 月までに確認された 1,057 例 (1,241 人) の死亡事例について、14 次にわたって検証を行い、報告書として取りまとめ公表してきた。

この間には、児童虐待防止法や児童福祉法の改正により、様々な整備や取り組みがされてきた。しかしながら、依然として子ども虐待による死亡事例が後を絶たない現状は、極めて残念なことである。

本年 3 月に東京都目黒区で発生した 5 歳 (当時) 女児が虐待を受けて亡くなった児童虐待事案も受け、増加する児童虐待に対応するため、今後の方向性について、関係府省庁と共有し、政府一体となって児童虐待防止対策に取り組むため、6 月 15 日「児童虐待防止対策に関する関係閣僚会議」が開催された。

この会議において、子どもの命を守ることを何より第一に据え、全ての行政機関が、あらゆる手段を尽くすよう、緊急に対策を講じることとされたことを受けて、「児童虐待防止対策の強化に向けた緊急総合対策」(平成 30 年 7 月 20 日児童虐待防止対策に関する関係閣僚会議決定) が取りまとめられた。

このような中で、実際の現場では、多くの関係者が虐待を受けた子どもたちの安全第一に関わり、虐待に至らないように養育者を支援するために、日々懸命に努力をされていることを忘れてはならない。

だからこそ、虐待対応に関係する方々には、自らの対応と本報告の内容を鑑み、他の機関や関係者との連携のあり方等、改めて自らの対応を振り返る機会としていただきたいと思う。

最後に、日々、児童虐待防止対策に当たる現場の関係者の方々に心から敬意を表するとともに、本報告が一人でも多くの子どもを児童虐待から守ることに資することを望んでやまない。

社会保障審議会児童部会児童虐待等要保護事例の検証に関する専門委員会

○委員名簿（第14次報告）

相澤 仁	大分大学福祉健康科学部教授
秋山 千枝子	医療法人社団千実会あきやま子どもクリニック理事長
安部 計彦	西南学院大学人間科学部社会福祉学科教授
磯谷 文明	くれたけ法律事務所弁護士
田中 哲	東京都立小児総合医療センター副院長
野口 まゆみ	医療法人西口クリニック婦人科 院長
橋本 和明	花園大学社会福祉学部臨床心理学科教授
◎ 山縣 文治	関西大学人間健康学部教授
山田 和子	和歌山県立医科大学大学院保健看護学研究科特任教授

◎ 委員長

(50音順)

(平成29年11月10日時点)

○委員会開催経過

- ・第73回 平成29年11月10日
- ・第74回 平成30年2月19日
- ・第75回 平成30年4月27日
- ・第76回 平成30年6月1日
- ・第77回 平成30年6月29日

○現地調査経過

- ・平成30年1月25日
- ・平成30年2月13日
- ・平成30年2月28日
- ・平成30年3月15日